

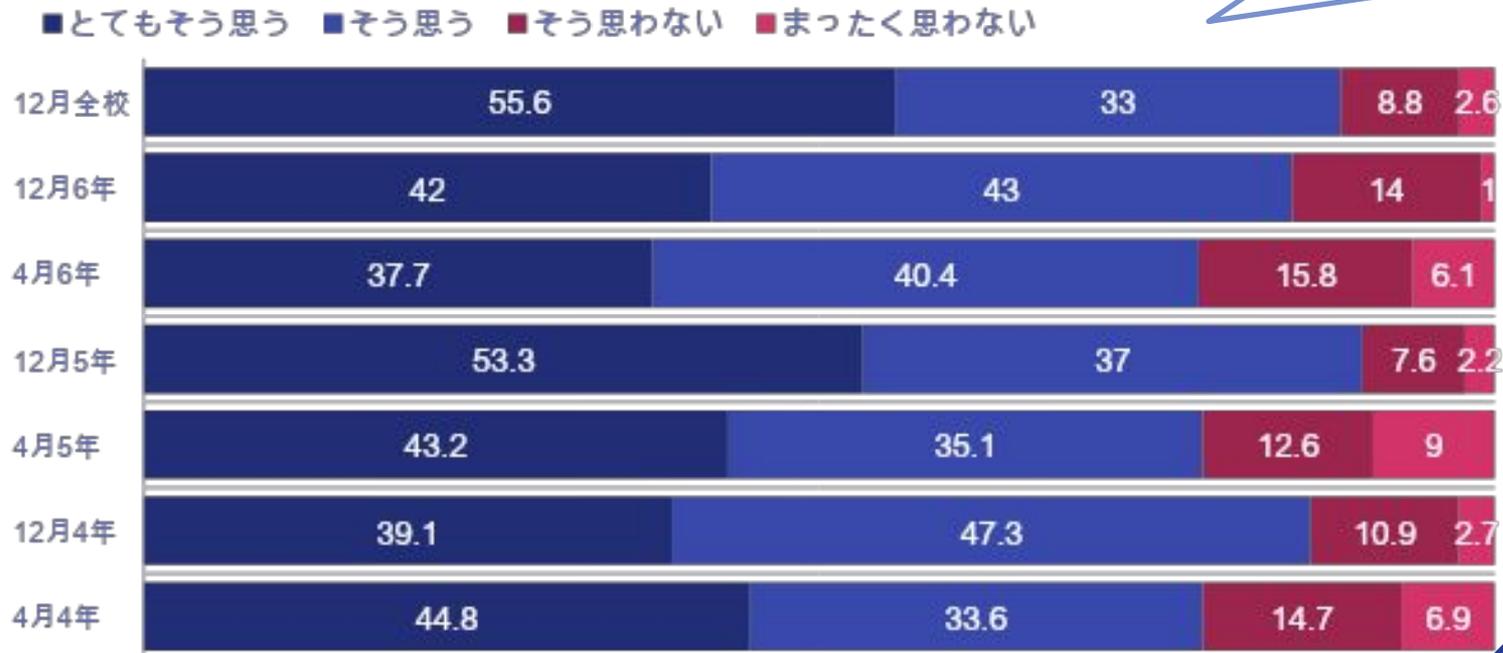
令和6年度 学校運営協議会 コミュニティ・スクール 学校評価報告

わくわくする学校づくりに向けたアンケート結果と来年度の取り組み

川崎市学力状況調査(4年～6年対象)質問項目より、本校のめざす子供の姿にかかわる 3大質問項目

学校に行くのが楽しい

1年間様々な経験を経て、楽しいと思えることが増えてきている。同時にまだ不安を抱えている児童もいる



川崎市学力状況調査(4年～6年対象)質問項目より、本校のめざす子供の姿にかかわる 3大質問項目

自分にはよいところがあると思う

学芸大会のように成果を感じられる行事が近くに
あった4年生の伸びが大きい。
今後も、活動の中でそれぞれのよさを感じられる
ように努める必要がある。

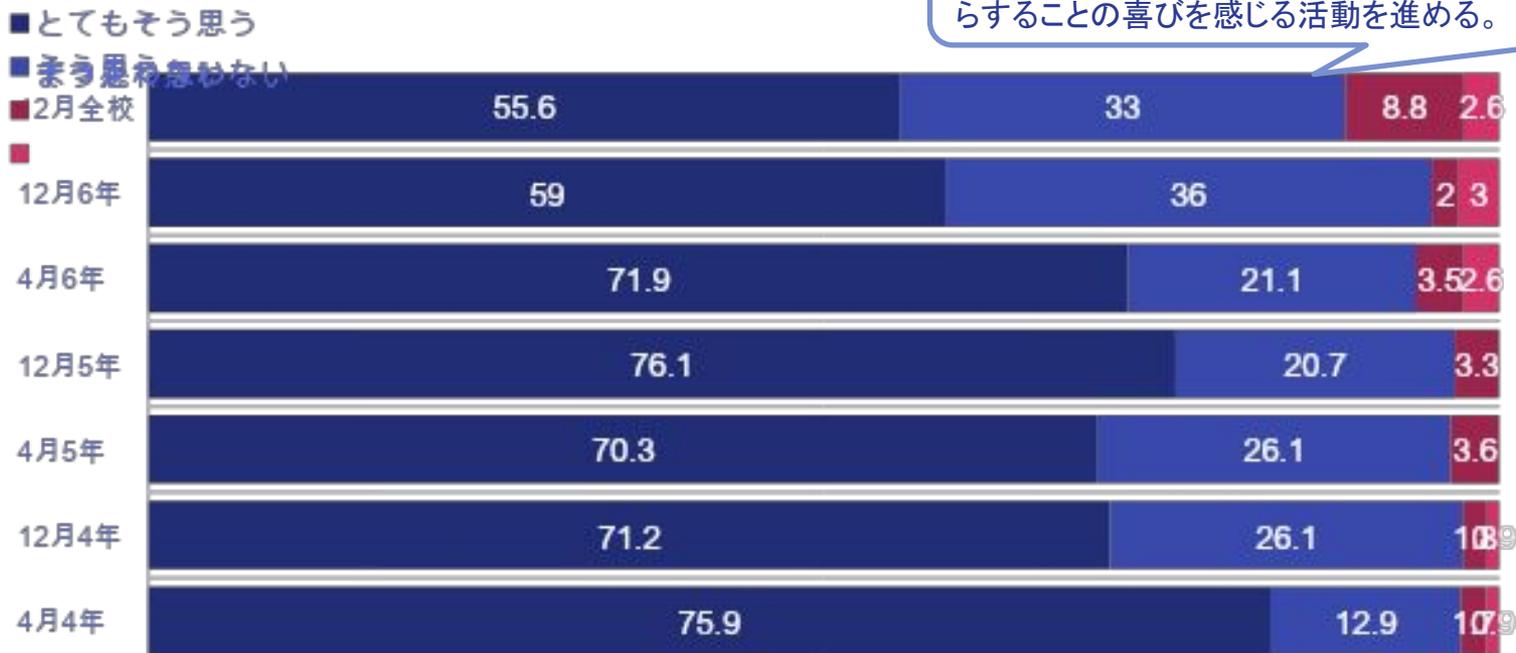
■とてもそう思う ■そう思う ■そう思わない ■まったく思わない



川崎市学力状況調査(4年~6年対象)質問項目より、本校のめざす子供の姿にかかわる 3大質問項目

人の役に立つ人間になりたいと思う

高学年においては、日々の活動が認められているので数値が高い。低学年においても、されることからすることの喜びを感じる活動を進める。



学習指導・教育課程

4 質の高い教育を
みんなに



①基礎・基本の確実な習得と活用する力・互いに高めあう子どもの育成

- 全ての教科を通して学ぼうという意欲を高め、「わかる」「できる」「楽しい」を実感し、共に学び合う子供を育てます。
- 習ったことを生かし、意欲をもって学べるよう導入を工夫します。また具体物やノートを活用し考えを整理したり振り返りをしたりして次の学習につなげます。
- 朝の短時間学習等を通して、基礎基本的な問題に繰り返し取り組み、知識理解の定着につなげます。また、学習状況調査の結果等を参考にして各学年の実態に合った取り組みをしています。



・1年生では、学ぼうという意欲を高めるために「やってみたい」と思える導入の工夫や活動内容にしています。低学年の国語だと、なりきったり動いてみたりすることで文章の内容理解を深めていくなどがあります。

・6年生では、子どもの振り返り(ノート)などをコピーして教室に掲示し、友だちの考えを知る機会や、よりよい振り返りの仕方を学ぶ機会を作っています。

①基礎・基本の確実な習得と活用する力・互いに高めあう子どもの育成

■よくできている ■できている ■あまりできていない ■できていない ■わからない





◎成果と○改善案

◎成果

・発達段階や学習経験に応じて、ギガ端末を活用しながら、友だちの考えを知ったり、自分の考えを伝えたりする活動を充実させることで、「友だちから学ぶ」ことの価値や「友だちと学ぶ」楽しさを実感することができた。

○改善案

- ・学習状況調査結果を分析し、集団及び個人としての課題や現状を教師が把握した上で日々の授業づくりを行い、学習指導や支援に活かしていく。
- ・ギガ端末のさらなる有効的な活用法の模索及び実践や、教師発信の学習活動だけではなく、子ども自身が学び方を考えて学習したり、振り返ったりできる場や時間を確保する。



学習指導・教育課程

②個に合わせた支援の充実

- ・ 少人数指導(35人以下学級編成)、教育サポーターによる支援を行います。
- ・ 英語、算数、音楽、書写、体育においては専科的な役割を担う教員を配置し指導の充実を図ります。

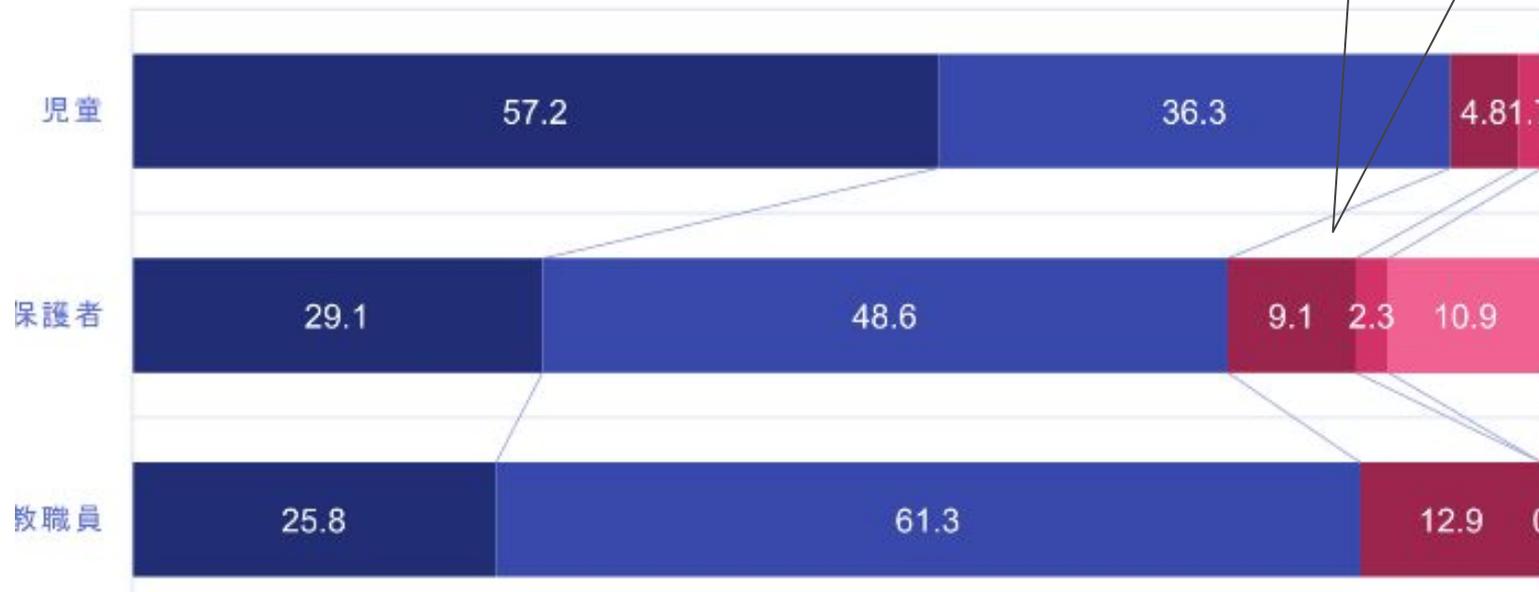


- ・算数では4年生では少人数指導、3年生では入り込みの指導を取り入れました。
- ・専科指導では、その教科を専門とした教員が指導を行いました。子ども達の学習の理解度を上げたり、複数の教員の目で指導
- ・支援したりすることに取り組みました。

②個に合わせた支援の充実

支援体制についての理解が
まだ伝わっていない面がある

■よくできている ■できている ■あまりできていない ■できていない ■わからない





◎成果と○改善案

◎成果

- ・算数では、4年生は少人数、3年生は入り込み支援で学習することで、教師の指導が行き届きやすく、定着度が上がった
- ・専科を取り入れることで、教科指導力が上がる他、複数の教員で児童を指導・支援することができた

○改善案

- ・すべての学年で取り入れられているわけではないので、教科担任制を少しずつ導入していく。
- ・教育委員会に人的配置を要求していく。
- ・中高学年においては、交換授業により教科担任に近い環境を整え、教科指導力を高め、多くの目で判断した児童理解による指導を進める。
- ・入り込み支援や取り出し支援など、様々な方法を使って個々の理解度が高まるようにする。

学習指導・教育課程

3 すべての人に
健康と福祉を



11 住み続けられる
まちづくりを



13 気候変動に
具体的な対策を



③防災・防犯教育の充実

- ・ 避難訓練・防犯訓練の想定ややり方を工夫したり、自分の身を守るための指導を行ったりします。

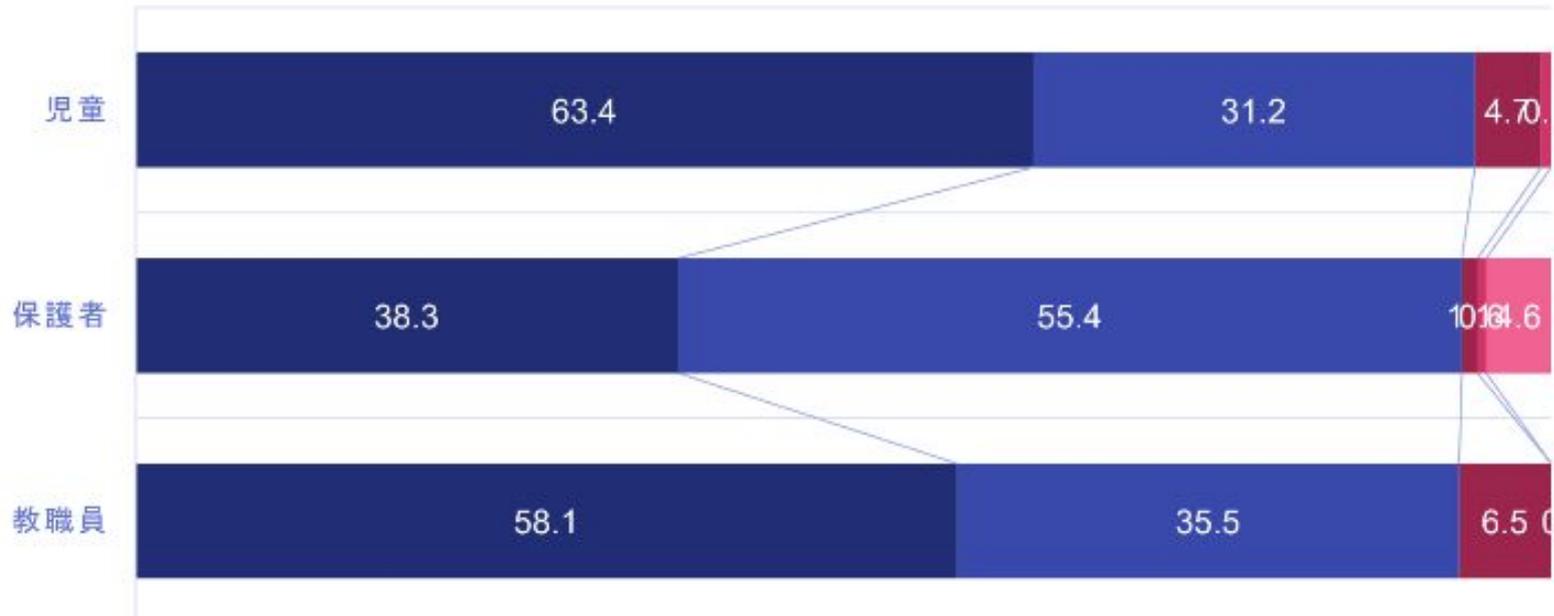
・様々な状況に対応した避難訓練(火災、地震、洪水、不審者対応)を年間6回実施しています。

・冬休み前に、家庭で防災について話し合えるように、非常時の備えや家庭で必要な確認項目についての授業を実施しました。

・児童用非常袋の学校での保管を開始しました。(1月より)

③防災・防犯教育の充実

■よくできている ■できている ■あまりできていない ■できていない ■わからない



◎成果と○改善案



◎成果

- ・訓練を通して、避難時の基本的な行動を身につけることができた。

○改善案

- ・実施時間を固定せずに行うことや、想定外の状況を設定することで、より実践的な訓練の計画を立て、実施する。
- ・年度のはじめに引き取り訓練を行うことで、不測の事態に全校職員、1年生児童および保護者が備えられるようにする。

- 有事を想定した訓練や保護者や地域ともに備える力を高める

学習指導・教育課程

④情報教育の充実

4 質の高い教育を
みんなに



- 一人一台タブレットPCを利用して、機器の端末操作方法を系統的に指導し、適切に活用できる力と態度を育成します。
- 発達の段階に合わせて系統的に情報モラル教育を進め「適切なコミュニケーション」の力を育てます
- 保護者と共に学び、日常に生きる情報モラル教育を工夫し実践します。

→端末を活用して調べたり、発表したりする場面
を教科や学年を横断して行いました。

→インターネットを活用することでどのような危険
があるか考える授業を行いました。授業参観で
授業を行い、ご家庭で考えてもらう場面を設定し
ました。



④ 情報教育の充実

■よくできている ■できている ■あまりできていない ■できていない ■わからない



有効に使用できていないと
感じている職員もいる

◎成果△課題と○改善案

4 質の高い教育を
みんなに



◎成果

- ・子どもたちがギガ端末を効果的に活用できていると感じている。
- ・ギガ端末を活用することで、学習を進める力がついてきていると感じている。

△課題

- ・ギガ端末の活用方法やその目的について子どもの捉えと、教員や保護者などの 大人の捉えに差がある。

○改善案

- ・年間を通じた情報モラル教育の推進と保護者も参加する授業の提供
- ・各学年に応じたギガ端末活用方法を考え、更に推進する。
- ・端末を活用した授業の実践を発表し合う職員研修の実施

学習指導・教育課程

3 すべての人に
健康と福祉を



⑤健康教育・運動する子ども

・日々の体育授業や養護教諭・学校栄養士による健康に関する授業や日常的な衛生管理への意識を高めるなど、健康や体力に関心をもつ子供を育てます。



【キラキラチャレンジ】

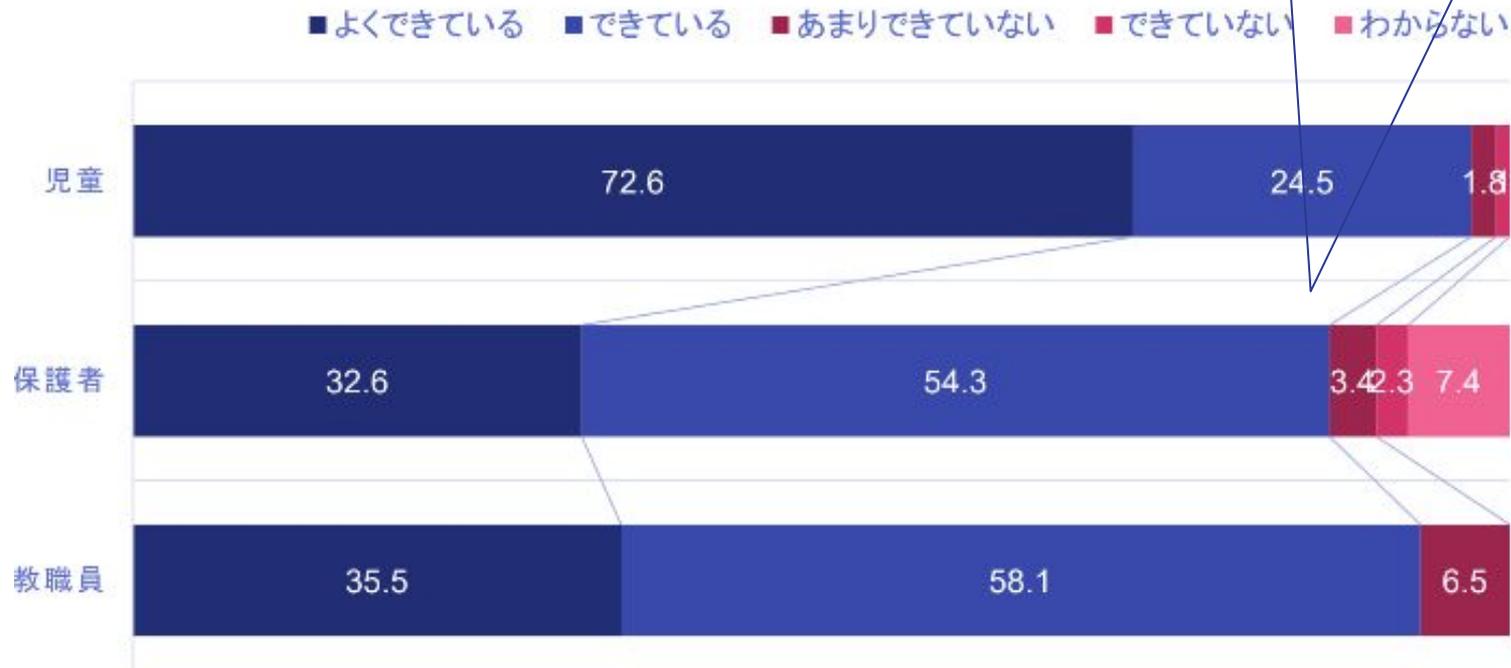
今年度より、休み時間や体育の授業の中で、縄跳びやフラフープなどの種目に取り組み、日常的に運動する習慣を身につけられるようにしています。運動が苦手な児童も取り組めるように体育委員が中心となって工夫しています。



特別活動の時間に、担任と協力し、養護教諭・学校栄養士が健康や栄養について授業を行いました。授業内で自分の目標をたて、家庭での実践を通して、より良い生活習慣の定着をはかりました。

⑤健康教育・運動する子ども

健康教育の重要性を感じている保護者の意識がうかがえる。



◎成果と○改善案

3 すべての人に
健康と福祉を



◎成果

・キラキラチャレンジや特別活動の時間に、担任と協力し、養護教諭・学校栄養士が健康や栄養について授業を行ったことにより、よくできている、できているを合わせると97.1%と多くの児童が回答していることは大きな成果と言える。

△課題

・児童の結果と比べて、保護者の「よくできている」の割合が少ないため、増やしていきたい。

○改善案

・専門家の指導による健康教育の推進と、保護者への授業公開で家庭へ発信していく。
・食事・運動・睡眠が子どもの成長に及ぼす効果を4～6年生を中心に特別な学習を進めていく。

児童支援

4 質の高い教育を
みんなに



5 ジェンダー平等を
実現しよう



⑥命の重さや価値を実感し、思いやりの気持ちをもつ

- 年間の教育活動を通して、自分も相手も大切にできるように努めています。(人権週間、子どもの権利学習、SOSの出し方・受け止め方教育、行事など)



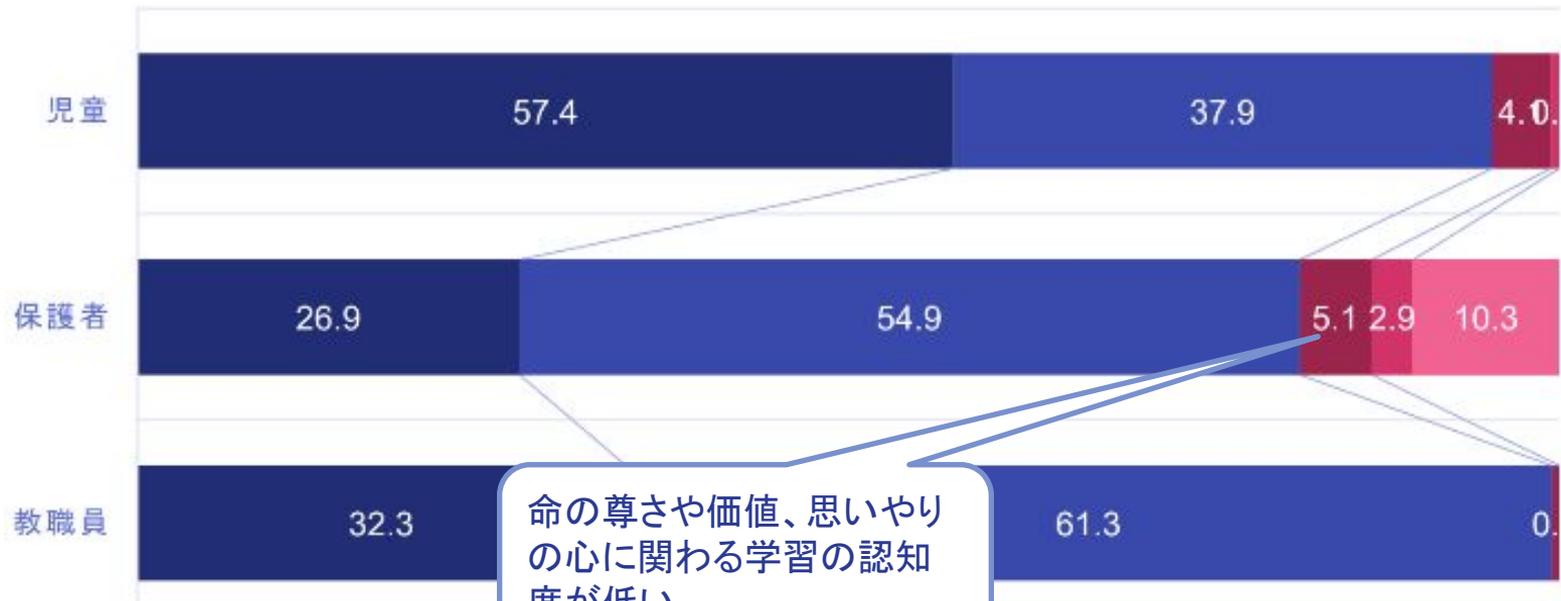
『なかよし会』ひまわり級と1年生の交流会を行いました。遊びながらお互いを知り、仲良くなりました。



人権週間には共生 * 共育や道徳、夏休み前にはSOSの出し方・受け止め方教育を行い、命の大切さや思いやりについて考える学習を積み重ねました。また、子どもの権利学習において、自分たちに必要な権利についても話し合い、理解を深めました。

⑥命の重さや価値を実感し、思いやりの気持ちをもつ

■よくできている ■できている ■あまりできていない ■できていない ■わからない



命の尊さや価値、思いやりの心に関わる学習の認知度が低い。

◎成果と○改善案



◎成果

・日々の教育活動全般で、命の重さや思いやりについて考える機会を積み重ねてきた。その結果、児童と教職員の意識は高いといえる。

○改善点

- ・保護者のアンケート結果と児童・教職員のアンケート結果に開きがある。保護者に学習や学校での様子が伝わっていないと考えられるので、授業公開やホームページでさらに発信していく必要がある。
- ・かわさき子ども人権条例の授業を単発ではなく継続的に行って理解を深め、児童の人権意識を高める。
- ・学習したことが行動化できるような取り組みを考えていきたい。

児童支援

⑦ 共生・共育の実施、コミュニケーション力の育成、いじめを許さない学校風土

10 人や国の不平等をなくそう



16 平和と公正をすべての人に



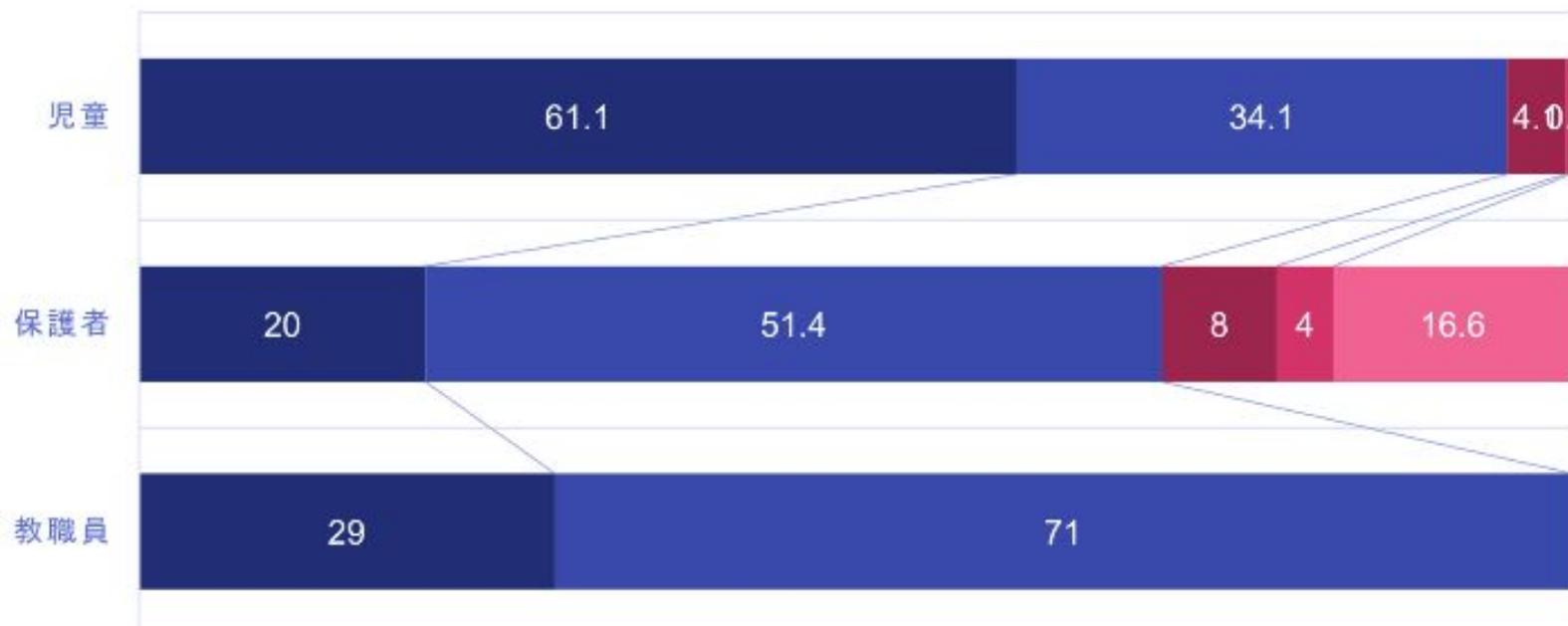
- 各学年7時間の「共生 * 共育プログラム」を行い、社会性のスキルの習得に努めます。
- 「学校生活アンケート」を実施し、一人一人の思いをくみとることで、いじめの防止に努めます。
- 教職員はいじめ防止委員会を計画的に開催し、教職員で課題を共有しながら、いじめ防止・問題解決に努めます。
- 支援教育コーディネーターを中心に子供の心に寄り添ったチーム支援を行います。

「かわさき共生 * 共育プログラム(年7回)」は自分づくり・友達づくり・仲間づくりをプログラムの柱とし、学年や時期、諸問題に応じて指導計画を基にして実践しています。「学校アンケート(年3回)」は、子ども達の学校生活の実態を把握し、きめ細かな対応や支援をするために行っています。

学校ホームページに掲載されている「いじめ防止基本方針」をもとに、全職員が「いじめや暴力は絶対に許さない」という気持ちを持ち、毅然とした態度で指導に臨んでいます。学校生活全般の悩み事に、担任・学年主任・支援教育コーディネーター・養護教諭など、子ども達が楽しく学校生活を送れるように様々な角度から支援しています。心を落ち着かせて話ができる「ほっとルーム」という部屋もあります。

⑦共生・共育の実施、コミュニケーション力の育成、いじめを許さない学校風土

■よくできている ■できている ■あまりできていない ■できていない ■わからない



◎成果と○改善案



◎成果

いじめに対して、道徳の授業や児童会からの発信で意識をもって取り組むことができていた。

共生＊共育プログラムの取り組みを定期的に行うことにより、社会性のスキルを身につけることができている。

○改善案

保護者への周知がなかなか進んでいないことがアンケートから見てきたので、学校ホームページを活用して、児童の活動の発信をしていきたい。

- 年3回「学校生活アンケート」を実施し、一人一人の思いをくみとり、即時チーム対応を行う。

児童支援

10 人や国の不平等をなくそう



11 住み続けられるまちづくりを



16 平和と公正をすべての人に



⑧皆が気持ちよく過ごせるための規範意識の育成

- ・児童会活動を中心に、子供たち自身が気持ちよく過ごすことができる学校生活のルール作りについて考える機会を設けていきます。
- ・生活目標を通して、規範意識の育成に努めています。

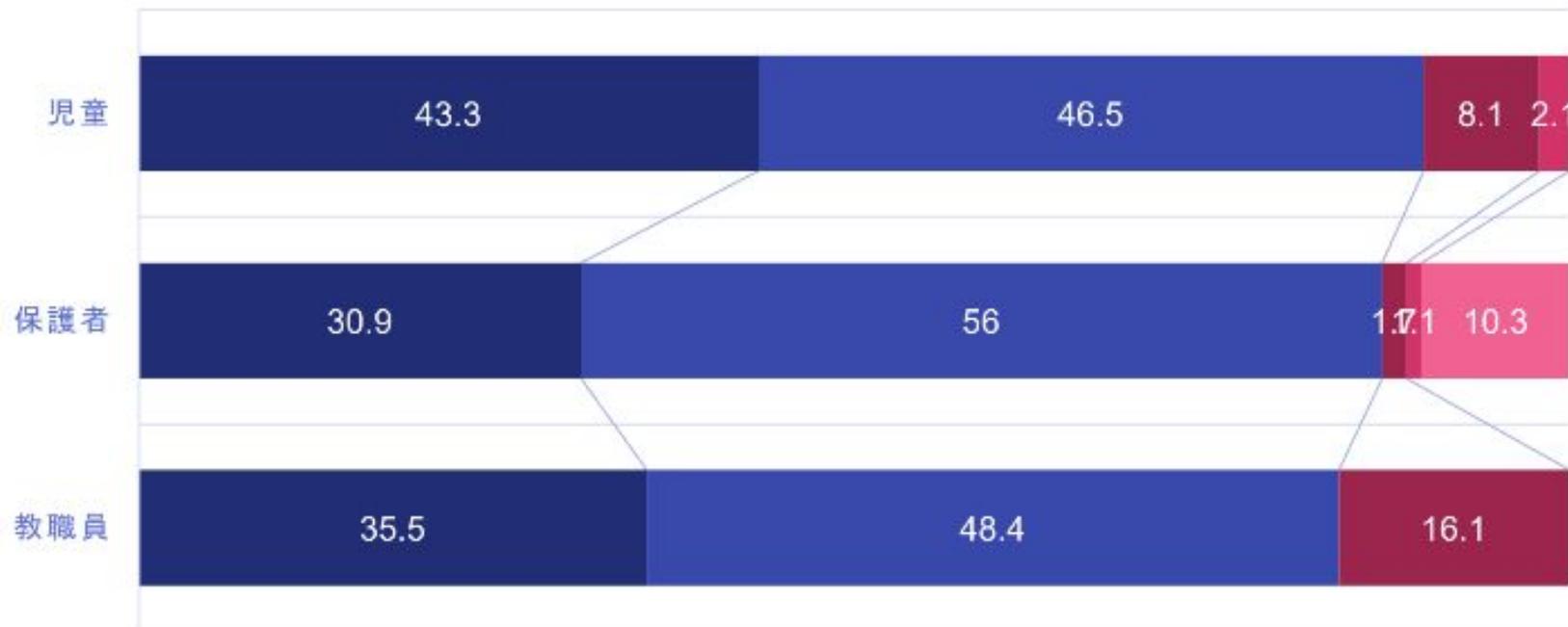
・運営委員会では、「学校をよくしようポスト」を設置したところ、児童から「階段で右側を歩いている人が少ない」という声が寄せられました。そこで、階段の歩行について自分たちで働きかけを行いました。自作の色分けカードを使い、右側通行が意識付けられるように工夫しました。

・朝会で生活目標について全校で確認する機会をつくっています。児童が考えを発表する場面もあり、自分たちでよりよい生活をつくっていかこうとする思いを育成しています。



⑧皆が気持ちよく過ごせるための規範意識の育成

■よくできている ■できている ■あまりできていない ■できていない ■わからない



◎成果と○改善案



◎成果

- ・多くの児童、保護者、教職員が、児童が皆が気持ちよく過ごすことができるような学校のルールについて考えることができていると捉えている。
- ・児童が学校生活のルールや生活目標について考える機会を作ることは規範意識を高めるうえで有効であると感じている。

○児童自らが学校生活について改善できるようにするために

- ・生活目標に対して、自分やクラスがどのように取り組めたのかを振り返る機会を設ける。振り返りの際に、次はどうしたいのかまで考えるように促す。
- ・必要に応じて生活目標やルールを確認する。
- ・取り組みについてより伝えられるように学校ホームページに報告するなど工夫する。

特別活動

8 働きがいも
経済成長も



⑨主体的に取り組む気持ち、自己有用感の育成

- 委員会活動・クラブ活動、係活動その他の活動において、子供たちの発想や意欲を生かした活動に取り組み、自分たちで楽しい学校をつくれるように指導します。
- 運動会や日常の児童会活動など児童の発想から活動が進められるようにします。
- 行事を通して協働し、連帯感・達成感を味わわせます。



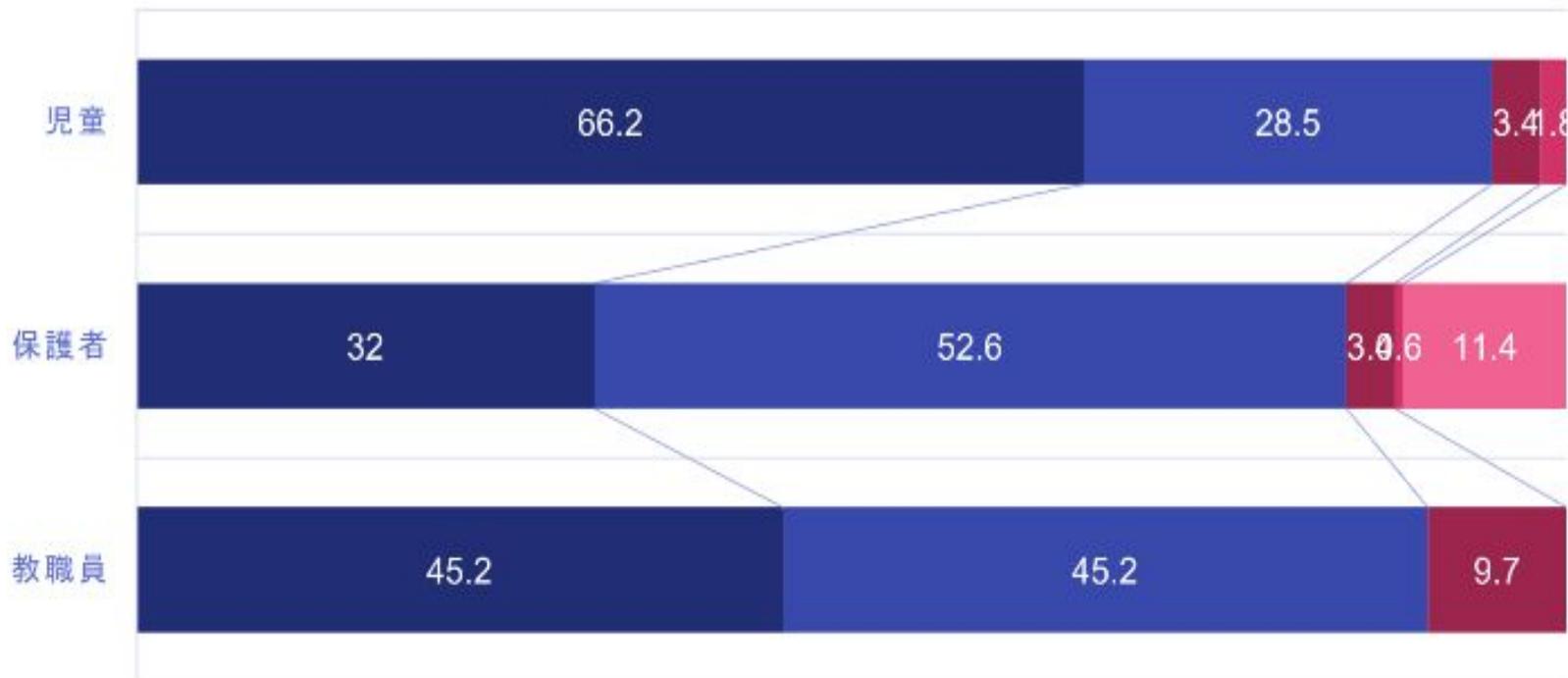
今年の運動会は、6年生を中心に企画運営しました。各学年でも、6年生からおりてきたことをもとに、自分たちの演技の工夫や盛り上げについて話し合い、実行しました。



委員会活動では、よりよい学校づくりのために、各委員会が活動しました。放送委員会では、児童が時間を気にせず掃除に集中できるように音楽を流すことを提案し、実行しました。

⑨主体的に取り組む気持ち、自己有用感の育成

■よくできている ■できている ■あまりできていない ■できていない ■わからない





◎成果と○改善案

◎成果

・委員会活動を主として、子供たちの「やってみたい」「やってみよう」を大切にした主体的な活動を行うことができた。

- 学校行事や特別活動では、児童が考え計画し実行する機会を多くもてるようにする。また、低学年においても選択し判断するような機会を増やし、その活動結果を価値づけする。
- 保護者に子供の取り組みの様子を知ってもらえるよう、ホームページ等を活用して情報を発信する。
- 高学年だけでなく、全校的な主体的活動にするために、代表委員会を子供たちの夢を叶える場として活用する。

安全安心な環境



⑩危機管理・施設の整備

- 心肺蘇生法・AEDやアレルギー研修、学校安全マニュアルを活用します。
- 日頃の感染防止対策の徹底、教職員による清掃および消毒作業、子供の作品や学習に活かせる掲示物の工夫などを行い、清潔な空間を心がけます。
- 地域の安全見守り、避難所運営会議、PTAと連携し児童の安全確保を図ります。
- 感染予防教育や交通安全教育、薬物乱用防止教育等を実践し、安全に対する意識向上を目指します。
- 教育委員会、地域、保護者と協働し、学校施設設備環境の改善に努めます。

定期的に薬剤師の点検を受けながら、教室の照度・二酸化炭素濃度・水道の水質等を保つよう努めています。また、登下校の見守りやパトロール等、地域やPTAの方のご協力に感謝申し上げます。

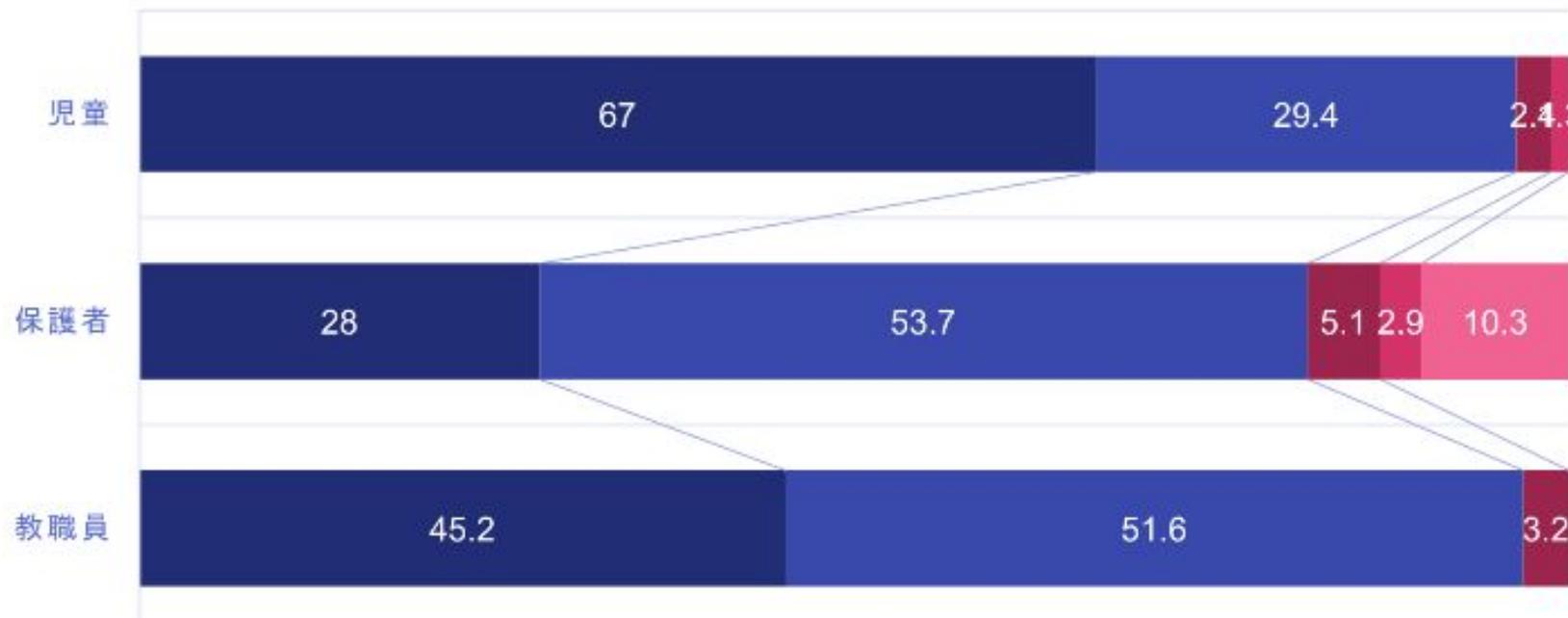


外部講師を招いての学習では、臨場感をもって話をさせていただきました。また、主に保健室を発信元として、感染予防等について、ポスターなどで呼びかけました。



⑩危機管理・施設の整備

■よくできている ■できている ■あまりできていない ■できていない ■わからない



◎成果と○改善案



◎成果

・学校安全マニュアルに基づき、給食指導研修・エピペン研修・心肺蘇生法研修・防犯研修等各種研修を滞りなく進めたことで、職員の危機管理意識を高め、児童に指導することができた。

・草取りボランティア等、校内環境整備に関心を持ち、ご協力いただける方と出会い、校内美化につながった。

- コミュニティスクール委員と協働するような学校運営の実現に努める。
- 防犯・安全や校内植栽環境整備など地域住民やボランティアを広く募り取り組む。
- 講師を招いた安全教室(感染予防教育・交通安全教育・薬物乱用防止教育・情報モラル教育等)について、保護者にも周知し、学校と保護者が連携して指導にあたれるようにする。
- 増築校舎設営に伴う環境の変化に対応するため、安全・安心に教育活動が進められるよう、カリキュラムの調整や場の設定を工夫していく。

保護者・地域との連携

⑪地域に愛着をもてるような教育活動



- 生活科・総合的な学習の時間・社会科の学習、行事等で地域の「人・もの・こと」との出会いやふれあいを通して地域を愛する気持ち、感謝の気持ちを育てます。
- 目的をもって地域に出かけ、地域のよさを実感する活動を取り入れます。
- 積極的に地域教育資源を開発し、地域と連携した授業開発を進めます。



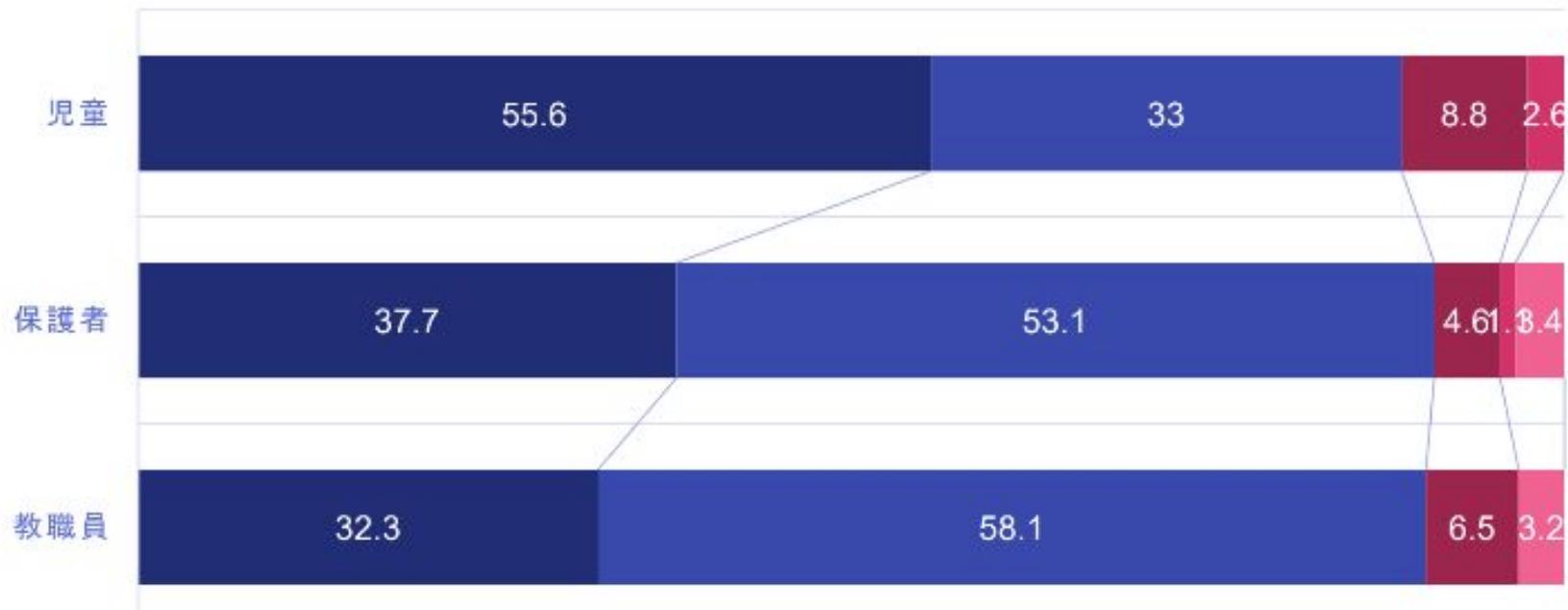
4年生の総合的な学習では福祉を学習しています。「みんなにやさしいまちづくり」の単元で「やさしさ日本代表をめざそう！」を合言葉にポッチャを通してたくさんの人とつながろうとしています。地域の「福祉フェス」にも有志で参加しました。



5年生の総合的な学習の時間では、環境について学習しているため、川崎100周年の緑化フェアに参加し、花を植えたりプランターを作ったりして登戸の環境をよくする活動をしました。

⑪地域に愛着をもてるような教育活動

■よくできている ■できている ■あまりできていない ■できていない ■わからない



◎成果と○改善案



◎成果

・生活科や総合的な時間の学習では、自分たちをとりまく環境や社会から生まれた課題に対して主体的に学習を進めたり、体験活動を通して自分自身がどのように関わるとよいかを考えたりしている。

・1年生では学校探検、2年生では町探検、3年生では登戸の自然と国際理解、4年生では福祉学習、5年生では環境学習、6年生ではキャリア教育と歴史ある登戸の街の人と共に学びを深めるカリキュラムとなっている。

・探究的な学びをスパイラル的に行うことで、人との関わり方や地域を愛する気持ち、感謝の気持ちが育っている。

○改善案

- 生活科・総合的な学習の時間のカリキュラムの抜本的な見直しを今年度中に行う。
- 地域企業や専門家、行政を入れた学習活動の開発

保護者・地域との連携

⑫学校評価を生かした教育の改善・情報発信

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



17 パートナースHIPで
目標を達成しよう

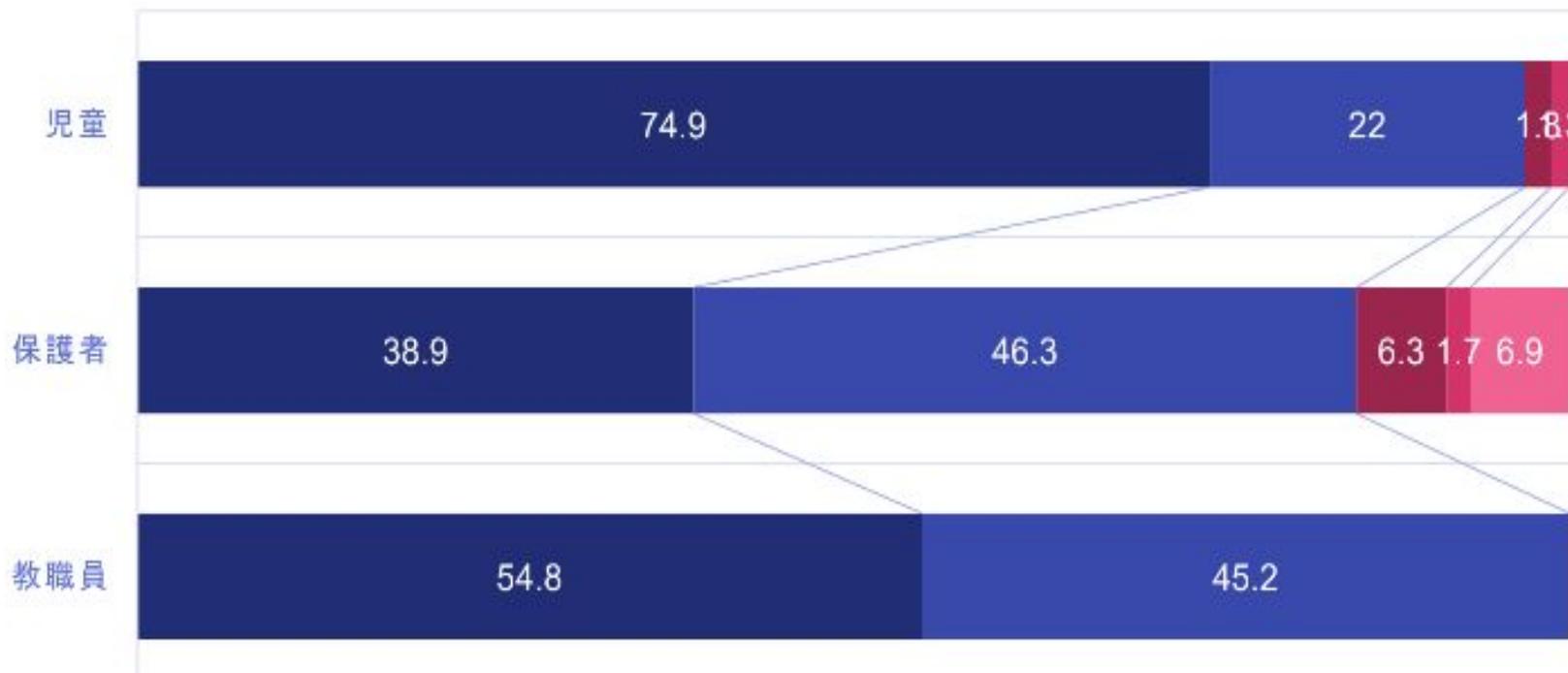


- 学校便り・学年便りにおいて教育方針や児童の様子を保護者・地域の方々にお知らせしたり、随時ホームページを更新したりします。
- 保護者向けの手紙、調査結果等メールによる配付をします。紙文書の削減のために、ミマモルメやホームページによる文書配付を進めます。
- 学校教育推進会議でのご意見や保護者アンケートを学校改善に役立てていきます。

- ・日程(学校の行事・学年の主な行事など)、詳しいお知らせ(個人面談・学校公開日など)、学校生活上のお願いや注意点(冬季の防寒着・通学中の様子など)は「学校だより」にまとめます。一つにまとめることで、保護者の方に分かりやすく正確に情報が伝わる様に努めました。
- ・ボランティアの募集や希望調査などは「ミマモルメ」を、学校・学年からの様々なお知らせは「学校Webページ」を活用しました。データ化を進めることで、保護者の方に迅速で簡単に手続きや情報確認ができる様に努めました。
- ・地域の行事に参加した様子、幼稚園・保育園・中学校との交流の様子など「学校だより」や「学校Webページ」を使って毎月お知らせしました。様々な連携の仕方を実践し、継続可能な地域との連携の仕方を考えました。

⑫学校評価を生かした教育の改善・情報発信

■よくできている ■できている ■あまりできていない ■できていない ■わからない



◎成果と○改善案

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



17 パートナーシップで
目標を達成しよう



◎成果

- ・「学校Webページ」や「ミマモルメ」を活用して情報を発信する方法は、肯定的な結果や意見が多く、効果的であったと考えます。
- ・ミマモルメで、アンケートの締め切りや提出物の回収等、期限が近づいていることの「呼びかけ」が好評でした。
- ・紙でも欲しい、もう少し先の月予定が欲しい、学校の様子を知る機会を充実してほしい、等の要望がありました。

○改善案

- ・情報の提供速度を上げていきます。また、内容はさらに充実させていきます。
- ・「学校だより」は紙でも準備して職員室前に設置します。必要なご家庭は、お子様を通して持ち帰り、ご活用ください。
- ・月予定は2ヶ月先まで学校だよりに掲載するようにします。最新情報は該当月の予定表で最終確認してください。
- ・授業参観や学校公開日、学校行事、個人面談等、参加し易くなる様に適切な時期を考慮して、配置していきます。

来年度に向けた取り組み



子どもも大人もわくわくする学校



学習・児童理解

地域資源開発
企業・行政の活用
学習ボランティア募集
健康相談



防災・防犯・交通安全

町会の見守り活動
避難所開設運営委員
見守り活動ボランティア



環境

栽培ボランティア(花壇管理)
清掃ボランティア
(waxがけ、落ち葉はき)
修繕ボランティア



情報

デジタル教材作成
HP管理
イラスト作成
来場者管理



来年度に向けた取組

学年担任制・教科担任制の導入

高学年を中心に、学年担任と専科教員で学年運営を進めます。授業も交換授業を行い、学年児童に学年担任がすべて関わるようにすることで、児童理解を深めると同時に質の高い授業を提供します。

時程変更 下校時間が早まります。

- ・朝のモジュール学習(15分学習)の効果的な利用を進め、基礎基本の定着を促します。
- ・清掃活動の見直し効率よく、整った環境にします。
- ・放課後の校庭開放の充実し、子どもの体力向上に努めます。

来年度に向けた取組

地域愛 緑化活動の充実

- 学校テーマに向けた学習活動の開発と継承を続けます。
- 地域と共に歩む教育活動を大切にし、積極的に進めていきます。
- 児童の発想を最大限生かし、実現できるよう地域・保護者と共に進め、児童が自慢できる、登戸小学校のブランド力を高めていきます。

来年度に向けた取組

10月から増築工事が始まります。



●令和5年6月～令和7年2月 基本・実施設計業務

●令和7年10月～令和9年6月 校舎増築工事（1期）

（令和7年10月～令和9年1月：校舎増築工事 令和9年4月～令和9年6月：給食室解体工事）
令和9年4月～増築校舎1期工事部分供用開始

●令和9年7月～令和11年3月 校舎増築工事（2期）

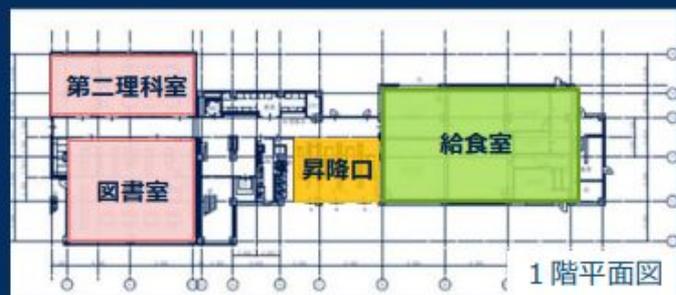
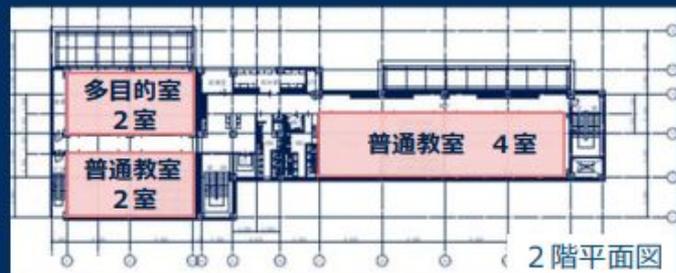
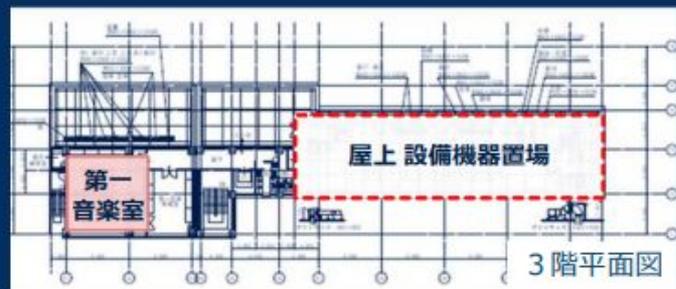
（令和9年7月～令和10年12月：校舎増築工事 令和11年2月～令和11年3月：仮設渡り廊下解体工事）
令和11年4月～増築校舎2期工事部分供用開始

※本スケジュールは現在設計中の予定ですので、工事進捗により前後する可能性があります。

5 最終計画（概要）



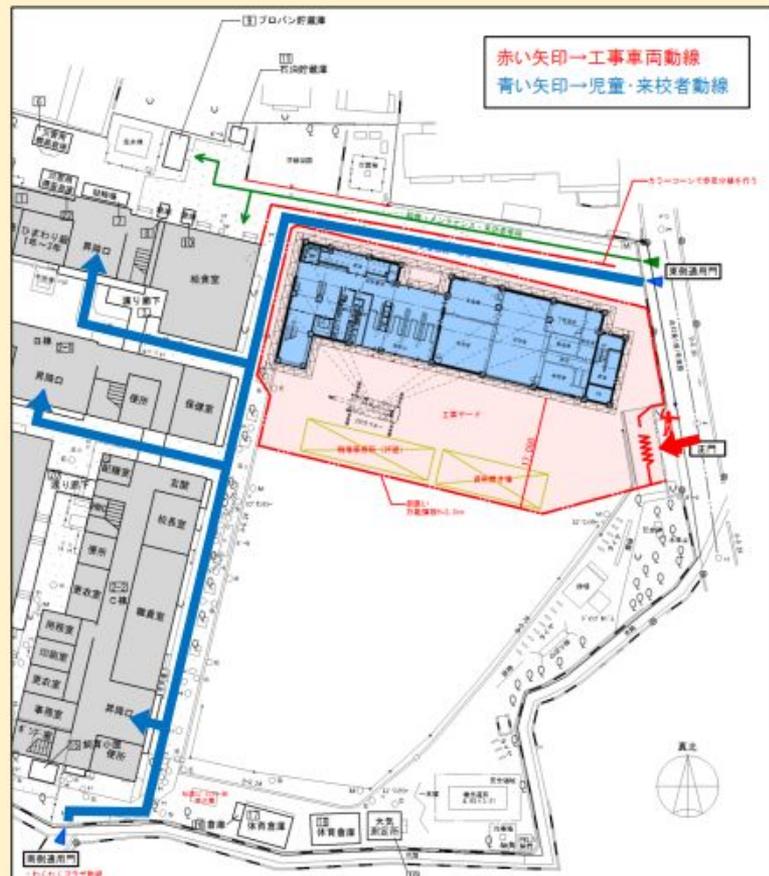
建物名称	構造	階数	建築面積	延床面積	最高高さ
増築校舎	RC	3階	約1,100㎡	約2,500㎡	約12m
1階：給食室、第二理科室、図書室、倉庫等					
2階：普通教室6教室、多目的室2教室、倉庫等					
3階：第一音楽室（既存校舎の音楽室を第二音楽室とする）等					



1

1 期工事開始 (R7. 10~R8. 7)

赤枠内が工事エリアとなります。



2

仮設給食用渡り廊下設置 (R8. 7下旬~R8. 8下旬)

開放性のある渡り廊下を設けます。



創立152年に向けて

子どもも大人もわくわくする学校とは

登戸小学校にかかわる全ての人々が、登戸小学校を誇れるような教育活動を進めている学校

そのためには、児童・教職員・保護者・地域・行政・企業の力を合わせることが大事です。

今後ともご協力よろしく申し上げます。